

令和4年度

柿生保育園 柿生かきっこ保育園 保育説明資料



* 職員紹介

* 令和4年度の保育計画

- 保育重点目標について
- 全体的な保育計画について
- 乳児保育のポイント
- 幼児保育のポイント
- 健康管理について
- 保育園の給食について
- 子ども達の安全を守る取り組み

* 年間行事予定について

発行日 : 2022 年 4 月 28 日

令和4年度 職員紹介

理事長	鈴木 錠		社会福祉法人 鈴保福祉会 理事長
相談役	鈴木 文代		元 柿生保育園 園長

《柿生保育園 職員》

職種	氏名	担当クラス	備考
園長	輿水 邦夫		保育相談責任者
事務長	小島 裕司		柿生かきっこ保育園兼務
統括主任保育士	小畑 敦子		子育て相談及び受付窓口
主任保育士	木下 直美	フリー保育士	子育て相談及び受付窓口・発達支援コーディネーター
主任保育士	宅石 由枝	フリー保育士	子育て相談及び受付窓口
副主任保育士	遠藤 紗綾香	0歳児 つくし組	0歳児クラスリーダーおよび乳児統括リーダー
副主任保育士	飯島 美弥	4歳児 ひまわり組	4歳児クラスリーダーおよび幼児統括リーダー
保育士	吉岡 由佳	2歳児 たんぽぽ組	
保育士	阿部 梨江	1歳児 ちゅうりっぷ組	1歳児クラスリーダー
保育士	梶 久美	5歳児 さくら組	5歳児クラスリーダー
保育士	新野 千奈	3歳児 すずらん組	
保育士	横倉 佑味	1歳児 ちゅうりっぷ組	
保育士	平澤 淳子	2歳児 たんぽぽ組	2歳児クラスリーダー
保育士	園田 公美	3歳児 すずらん組	3歳児クラスリーダー
保育士	朝倉 優里	2歳児 たんぽぽ組	
保育士	小池 綾恵	5歳児 ふじ組	
保育士	遠藤 瞳	3歳児 すみれ組	
保育士	山田 沙織	4歳児 ゆり組	
保育士	小島 由衣	0歳児 つくし組	
保育士	久保田 瑞紀	2歳児 たんぽぽ組	
保育士	森山 真菜絵	1歳児 ちゅうりっぷ組	
保育士	今藤 桃花	0歳児 つくし組	
保育士	瀬川 はるな	3歳児 すみれ組	
保育士	塚田 杏月	1歳児 ちゅうりっぷ組	
保育士	渡邊 恵	4歳児 ひまわり組	正規職員採用(4/1入職)
保育士	金城 桃花	0歳児 つくし組	正規職員採用(4/1入職)
保育士	伊集院 美幸	4歳児担当	
保育士	見崎 裕子	5歳児担当	
保育士	伊藤 恵美	3歳児担当	
看護師	石栗 綾花		
副主任栄養士	菅野 留美	給食室	
栄養士	横溝 ゆり	給食室	
栄養士	柴垣 彩音	給食室	
栄養士	飯塚 加奈	給食室	

《柿生かきっこ保育園 職員》

職種	氏名	担当クラス	備考
園長	村上 佳代		保育相談責任者・発達支援コーディネーター
副主任保育士	上野 直美	0歳児 つぼみ組	0歳児クラスリーダー
保育士	武田 真美	1歳児 ふたば組	1歳児クラスリーダー・正規職員採用(4/1入職)
保育士	山田 仁佳子	2歳児 わかば組	2歳児クラスリーダー・発達支援コーディネーター
保育士	渡邊 亜美	2歳児 わかば組	
保育士	廣瀬 美奈子	1歳児 ふたば組	
保育士	石川 郁子	1歳児 ふたば組	
保育士	坂井 千晶	2歳児 わかば組	
看護師	上野 碧		

事務	松瀬 夏実		
用務	宮澤 織絵		
園医	小野木 恵子	すこやかこどもクリニック	乳児健診、全園児健診、新入园児健診
歯科医	安藤 優	安藤歯科医院	年1回歯科健診
産業医	鈴木 宏行	柿生すずき内科	

保育目標

1. 元気のよい子ども
2. 心の豊かな子ども
3. やる気のある子ども

今年度の保育重点目標

- ・子どもの心(言葉や話)に耳を傾け、気持ちを受け入れ、子どもに寄り添う保育を心がけ、がんばろうとする子どもを支え、育てる
- ・飼育・栽培活動を通して、自然とふれあい、興味・関心をもちながら 自然や命をたいせつにする子どもを育てる

子どもに接するとき、子どもの心の声や子どもの話に耳を傾け（傾聴）、気持ちを受け入れる。その時、「声かけ」ひとつで子どもの気持ちは変わってきます。自分の気持ちがうまく表現できない乳児にとってはなおさらのこと。何を求めているのかを理解して、笑顔でうなずき、「うん、うん、そうだね。」とその気持ちを汲み取って代弁しながら語りかけてあげることで、安心感を育てていきたいと考えています。年齢や発達、個々の子どもの特性に合わせた声かけについて職員の共通課題として考え、日々の保育に活かしていきたいと思います。

乳児期から無条件に愛される体験を重ねて、安心できる人としっかりとした愛着関係ができたり、自分は必ず助けてもらえるという体験を重ねたりすることがたいせつです(基本的信頼)。乳児期のこの体験が、安心感や信頼感となり、自己肯定感を育てます。体験を重ね、幼児期になると安心できる環境のなかで自律性が身につくことで、がんばろうとする子どもを育てていきたいと思います。

今、非認知的能力が注目されています。先が見通せないこの時代、新しいことへ挑戦するときには、好奇心が豊かなことや失敗してもくじけずうまく乗り越えられること、必要なことに集中すること、我慢する気持ちなど（非認知的能力）が必要となってきます。それらは、社会で生きていくためにたいせつな能力であると考えます。そのもとになるものが乳幼児期に培われた愛着関係から生まれる自己肯定感であることがわかってきました。もちろん「字が書ける」や「さかあがり」ができるなどの認知的能力もたいせつです。しかし、愛着形成は乳幼児期に培うたいせつなものです。そのことを念頭に置いて保育を進めてまいりたいと思います。

もうひとつ、柿生保育園でたいせつにしていることは、広い園庭でのびのび遊ぶこと、季節の変化に興味・関心をもち、自然や命をたいせつにする心を育てることです。毎年各クラスで子ども達が育てたい作物を話し合い、決めています。自分たちで育てた野菜は、苦手なものでも食べてみようという気持ちになります。砂遊びや水遊び、カブトムシやスズムシの飼育、米や野菜の栽培などの原体験を通して、感じる心を耕していきたいと思っています。

理念	子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す		
方針	豊かな人間性を持った子供を育成する		
目標	1. 元気のよい子ども 2. 心豊かな子ども 3. やる気のある子ども		
社会的責任	人権尊重	保育士等は保育の営みが子どもの人権を守るために法的、制度的に裏付けられていることを認識し、理解する。	説明責任 保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しの良い状態を作ること、一方的な「説明」でなくわかりやすく応答的な「説明」をする
	情報保護	保育にあたり知り得たこともや保護者に関する情報は正当な理由なく漏らしてはならない。	苦情処理・解決 苦情解決責任者である施設長の下に苦情解決担当者を決め、書面における体制を整備する。また、第三者委員を設置する。職員で共通認識を図る。
	健康支援	○健康発育発達状況の把握 ○異常時の対応（流行病・熱中症・怪我など） ○心身状態や家庭生活、養育状況の把握 ○睡眠時チェック ○健康、衛生集会の実施	環境・衛生管理 ○施設内外の設備、用具などの清掃(※特に感染症予防対策として検温、手指の消毒の徹底、遊具・玩具の消毒、室内の衛生管理に重点を置く。)○各保育室酸性水噴霧器設置 ○給食業務衛生管理 ○毎月、職員の検便 ○プールの衛生管理 ○イベント時の食品衛生管理
	安全対策 事故防止	○毎月の避難訓練 ○不審者対応、防犯指導教室 ○交通安全教室 ○警察署との連携 ○遊具や園舎内外の安全管理及び自主点検、修理	研修計画 ○園内研修（ケース会議、保育内容） ○園外研修 ○研修報告
	小学校との連携	○就学前情報交換 ○保育要録 ○職員の学校訪問 ○年長児小学校見学 ○各小学校より掲示	地域との連携 ○アルナ園（特養ホーム）交流 ○園庭開放 ○一時保育事業 ○近隣中学校職業体験及び保育実習受け入れ ○近隣クリーン活動 ○ボランティア活動受け入れ（高校・大学） ○麻生区子育てフェスタ ○地域交流（夕涼み会・運動会・かっきーまつり・移動動物園・どんど焼き）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	幼児期の終わりに 育ってほしい姿に キ ア 自 然 な 心 関 と わ り ・ 生 命 イ 尊 重 心
ねらい	養護	・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め、快適に生活できるようにする。 ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、安心して過ごせるようにし愛着を育む。	・健康で安全な環境をつくり、一人ひとりの子どもの身体の状態を観察し、睡眠など適切な休息をとりながら、快適な生活ができるようにする。 ・生理的欲求やせなの依存欲求を受け止め、共感しながらか自発性や探索意欲が高まるようにしていく。	・健康で安全な環境をつくり、快適な生活リズムの中で、心身ともに安心して過ごす。 ・一人ひとりの子どもの気持ちを受容し、共感しながら自発性や探索意欲が高まるようにしていく。	・衛生的で安全な環境の中で心身ともに快適に安心して過ごせるようにする。 ・一人ひとりの子どもが自分の気持ちを表現できるように見守り、それを受け止めて、子どもが自信をもって生活できるようにする。 ・戸外遊びを十分するなど遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。	・衛生的で安全な環境の中で安定して過ごせるようにし、積極的に健康増進を図る。 ・一人一人の子どもが自分の気持ちを受け止め、自己肯定感が育まれ、保育者との信頼関係が深まるようにする。	・健康、安全に必要な習慣や自主協定の態度を身に付け、理解して行動できるようにし、就学に向けてより良い生活リズムを整える。 ・一人ひとりの子どもが主体的に行動する姿を認め、自信や意欲を持てるようにする。	幼 児 期 の 終 わ り に ま で に キ ア 自 然 な 心 関 と わ り ・ 生 命 イ 尊 重 心
	教育	・一人ひとりに応じて授乳やオムツ交換をしてもらい、心地よく生活する。 ・離乳を進めるなかで、徐々に様々な食事に慣れ食べことを楽しむ。 ・安全で活動しやすい環境の中で、はう、立つ、歩くなど様々な身体活動を十分に行う。 ・あやされたり、語りかけられたりすることで、発声や表情などにより保育者と気持ちを通わせようとする。 ・聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚器官や手指の機能の働きを促す。 ・保育者に優しく受け止めてもらうことで、喃語や表情、身振りなどで自分の気持ちを伝えようとする。 ・絵本や玩具、身近な生活用品など、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生える。 ・自分の欲求や気づきを伝えようとし、共感してもらうことの心地よさを味わう。	・安全で活動しやすい環境の中で、自由に身体を動かすことを楽しむ。 ・ゆとりとした雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わう。 ・食卓、排泄などを自分でしようとする気持ちが芽生える。 ・保育者との関わりによって身近な人と関わる心地よさを感じる。 ・友達に関心を持ち、親しみを感じて関わろうとする。 ・探索活動を通して、見る、聞く、触れるなどの経験をし、発見を楽しんだり興味や関心を持つ。 ・自分の気持ちをしくぐり言葉で表そうとしたり、保育者の応答的なかわりによって言葉を使うことを楽しむ。 ・絵本を読んでもらったり保育者と一緒に歌や手遊びを楽しむ。 ・イメージしたものを立てて遊んだり、模倣を楽しむ。	・明るく伸び伸びと生活し、自分から身体を動かすことを楽しむ。 ・和やかな雰囲気の中で楽しんでいる食事やおやつを食べる。 ・着脱、排泄など簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者や周囲の子どもとの安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる。 ・保育士と一緒に全身や手指を使う遊びを楽しむ。 ・身の回りのものや、親しみの持てる小動物や植物を見たり、触れたり、保育士から話を聞いたりして、興味や関心を広げる。 ・保育士を仲立ちとして、生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやり取りを楽しむ。 ・興味のあることや経験したことなどを歌や手遊びの中で、保育士とともに好きなように表現する。	・衛生的で安全な環境の中で心身ともに快適に安心して過ごせるようにする。 ・一人ひとりの子どもが自分の気持ちを表現できるように見守り、それを受け止めて、子どもが自信をもって生活できるようにする。 ・戸外遊びを十分するなど遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。 ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等、生活に必要な基本的な習慣が身につく。 ・身近な人との関わりを楽しんだり、友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・身近な動物植物や自然現象に興味を持ち、見たり触れたりして、親しみをもって遊ぶ。 ・生活、遊びに必要な言葉がある程度分り、自分の思いや経験したことを言葉で伝え、保育者や友達との会話を楽しむ。 ・感じたことや思ったことなどを描いたり、歌ったり、身体を動かしたりして、自由に表現しようとする。	・全身を使いながら身近な道具や遊びに挑戦し、積極的に遊ぶ楽しさを味わう。 ・健康で安全な生活習慣が身に付き、見通しを持って行動する。 ・友達と楽しく生活する中で、決まりの大切さに気付き守ろうとする。 ・身近な人と触れ合い、思いやりや親しみをもち。 ・身近な事物や自然現象などに興味や関心をもってかわかり、発見を楽しんだり、考えたりして、それを生活に取り入れようとする。 ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。 ・感じたことやイメージしたものを様々な材料や用具を使って自由に表現することを楽しむ。	・様々な道具、用具を使い集団遊びや、やや複雑な行動を行うなど、色々な遊びを楽しむ。 ・健康、安全に必要な生活習慣を身に付け、その理由を理解して行動する。 ・友達の思いを受け入れたり、友達との違いを認めながら、共通の目的を持って活動する。 ・異年齢の友達や地域の人々とかかわり、思いやりや親しみをもち。 ・身近な環境や自然などに自ら関わり、様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。 ・経験したことや考えたことを話したり、人の話をよく聞いたりして会話を楽しめ、日常生活に必要な言葉を適切に使う。 ・感じたことや考えたこと、想像したことを様々な方法で自由に表現したり、友達と伝え合いながら感性を豊かにする。	
内容	養護	・身体発育や健康状態を的確に把握しながら、一人ひとりの生理的欲求を満たし、保育士の愛情豊かな受容により、清潔な気持ちのよい生活ができるようにする。 ・オムツが汚れたら、優しく言葉を掛けながらこまめに取り替え、きれいになるまで心地よさを感じることができるようになる。また、一人ひとりの排泄間隔を把握し、徐々にトイレでの排泄にも興味を持てるようになる。	・一人ひとりの子どもの生活リズムを大切にしながら、安心して生活ができ、適切な休息ができるようになる。 ・身体発育や健康状態を的確に把握しながら、一人ひとりの子どもの生理的欲求を十分に満たし、保育士の愛情豊かな受容により、清潔な気持ちのよい生活ができるようになる。 ・楽しい雰囲気の中で、スプーンやフォークを使って食事をする。 ・一人ひとりの子どもの排泄間隔を知りオムツが汚れていない時は、トイレに誘い、トイレでの排泄に慣れるようになる。	・生活環境を清潔な状態に保つとともに、身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身につくようになる。 ・楽しい雰囲気の中で、自分で食事しようとする気持ちを持ち、嫌いな物でも少しずつ食べられるようになる。 ・落ち着いた雰囲気の中で、気持ちよく昼寝をする。 ・簡単な衣服は、一人で脱ぐことができるようになり、手伝わなくても自らで着るようになる。 ・大人や友達、小さい子などの身近な人に関心を持ち、関わろうとする。 ・遊びを通して友達と喜びや楽しさを共感する。	・保育士に様々な欲求を受け止めてもらい、保育士に親しみを持ち、安心感をもって生活する。 ・食事、排泄、睡眠、休息など生理的欲求が適切に満たされ、快適な生活や遊びをする。 ・保育者に援助されながら、生活に必要なようになり、手伝わなくても自らで着るようになる。 ・保育者と簡単なルールのある遊びを行い、遊びに必要な言葉や遊び方、ルールなどに気づく。 ・好きな遊びを繰り返し楽しむ中で、同じ遊びをしている友達に気づき、同じイメージで遊ぶ楽しさを味わう。	・自分で自分の身体を清潔にしたり、身体の異常を感じたときには、保育士に知らせるなど、健康に必要なことを自分でする。 ・自分の気持ちや考えを安心して表すことができるなど、情緒の安定した生活ができるようになる。 ・季節や活動ごとに変化する生活の流れに期待や見通しをもって行動する。 ・異年齢の子どもに親しみ、思いやりの気持ちを持ったり、地域の年長者など身近な人に関心を持ち、地域のお年寄りなど身近な人により、手伝わなくても自らで着るようになる。 ・仲間とのつながりに心地よさや安心感を感じ、親しみが深まる。	・健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度が身につく、自分の身体を大切にしようとする気持ちが育ち、自主的に行動することが出来るようになる。 ・就学への期待を持ち、主体的に活動する。 ・保育士との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるなど、情緒の安定した生活をする。 ・食事の仕方やマナーが身につく、体と食物の関係に関心を持つ。 ・異年齢の子どもとの関わりを深め、愛情を持ったり、地域のお年寄りなど身近な人に感謝の気持ちを持つ。 ・近隣の生活に興味や関心を持ち、人々が色々な営みをしていることに気づく。 ・日常生活に必要な言葉や身近にある文字、物の性質や数量などに興味や関心を持つ。	ク ウ 協 同 性 関 心 ・ エ ン ゲ ジ ン グ の 関 心 ・ オ ケ 社 会 生 活 と の 関 係 を 理 解 し て い く こ ろ の 力 を 育 つ
	教育	・繰り返し、はいはい、お座り、つたい歩き、立つ、歩くなどそれぞれの状態にあった活動を十分に行うとともに、つまむ、たたく、引っ張るなどの手や指を使っての遊びを楽しめるようにする。 ・喃語や片言を優しく受け止めてもらい、発声や保育士とのやり取りを楽しむ。 ・保育士が歌や歌を喜んで聞いたり、歌やリズムに合わせて手足を動かして楽しむ。 ・保育士に見守られて、玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむようにする。	・人間関係 ・登る、降る、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなどの運動を取り入れた遊びや、つまむ、たたく、つむむ、転がすなどの手や指を使っての遊びを楽しむ。 ・保育士に見守られ、戸外遊び、一人遊びを十分楽しむ、好きな玩具や道具で遊ぶ。 ・自然物に自分から関わり、十分遊ぶ。 ・保育士の話をききながら、自分から片言でしゃべることを楽しんだりする。 ・保育士と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、絵本を見たり、また、身体を動かしたりして遊ぶ。	・環境 ・戸外遊びや道具で遊ぶ機会を多くして、基礎的な運動機能の発達を図る。 ・身近な小動物、植物、事物などに触れそれらに興味、好奇心を持ち、探索や模倣などをして楽しむ。 ・保育士が仲立ちとなり、生活や遊びの中で、言葉のやり取りを楽しむ。 ・保育者と一緒に、水、砂、土、紙など様々な素材に触れて楽しむ。 ・歌ったり、踊ったり、手遊びをしたり簡単なストーリーのある絵本や紙芝居を楽しむ。	・身近な動物植物や自然現象をよく見たり触れたりなどして、親しみや愛情をもつ。 ・自分の思ったことや、感じたことを言葉に表現し、保育士や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・様々な素材や用具を使って、描いたり遊んだり、好きなように造形を楽しむ。 ・動物や乗り物などの動きを真似て、身体で表現することを楽しむ。	・自然や身近な事物、事象に触れ、驚いたり、感動したりして、興味や関心を深める。 ・具体的な物を通して、数や量などに興味を持ち、簡単な数の範囲で数えたり、比べたりすることを楽しむ。 ・日常生活に必要なあいさつをし、友達との会話を楽しむ。 ・童話、絵本などを見たり聞いたりしてイメージを上げ、描いたり、作ったり、色々な表現で遊ぶ。 ・身近な生活経験をごっこ遊びに取り入れて、遊ぶ楽しさを味わう。	・生活の中で必要な言葉（挨拶・気持ちを表す言葉）がわかり使用。 ・友達の経験した話、提案する話を興味をもって聞いたり、自分の話を聞いてもらって喜びを味わう。 ・感じたこと、想像したことを言葉で発したり、体や言葉、造形などで自由に表現し、または演じるなど、様々な表現を楽しむ。	
家庭	養護	・発達に合わせ、落ち着いた雰囲気の中で授乳する。 ・個々に応じて離乳食を進める。	・移行食を経て、幼児食になる。 ・意欲的に食べる。 ・野菜の栽培や観察を通して食材への興味を育む。 ・様々な食べ物を見る、触る、味わう経験を通して意欲的に食べる。	・こぼさないで食べる。 ・意欲的に食べる。 ・野菜の栽培や観察を通して食材への興味を育む。	・食べることに楽しさを知る。 ・野菜の栽培や収穫に関心を持つ。 ・基本的な食習慣が身について意欲的に取り組む。	・食事のマナーを理解して、楽しんで食べる。 ・野菜の栽培、収穫に関わる。 ・調理活動を行う（皮むき、混ぜる、こねる、など）	・食事のマナーを守って食べる。 ・栄養に興味を持ちながら食べる。 ・野菜の栽培や収穫を行う。 ・調理活動を行う。	コ ミ 力 を 育 つ こ ろ の 力 を 育 つ
	教育	・保護者との連携を密にして、子育てを援助していく。 ・相談会、保育参観（参加）、個人面談の実施 ・生活リズムを丁寧に確認する。 ・健康状態など丁寧に伝え合う。 ・離乳食の進め方について家庭と共に考え無理なく進める。	・成長している姿を分りやすく伝えていく。また、個人差を理解できるようにする。 ・保育者と一緒に関わり、簡単な手遊びをしたり、絵本を見たり、また、身体を動かしたりして遊ぶ。	・かみつき、ひっかきなどの受け止め方。 ・保育者の気持ちに寄り添いできるようにする。	・子どもの心身の状況を把握し合い、自分自身でできる喜びを感じられるようにする。	・園と家庭との信頼関係に基づき日常生活の実体験の中で基本的な生活習慣が身につくようになる。	・子どもが安定して生活できるよう、園と家庭で配慮し、主体的に行動する気持ちを育てていくようにする。 ・就学への期待、喜びを共有する。	
長時間保育		・一人ひとりの発達状況や生活リズム及び心身の状態に十分配慮し、くつろいで過ごせるような環境を整える。 ・年齢や発達に合った保育を行うとともに、異年齢のかわり合いを適度に見守る。 ・職員間の協力体制のもと、一人ひとりの子どもの情報共有、伝達を行い、家庭との密な連携をとる。						



乳児保育のポイント



現在、0歳児つくし組（7ヶ月～11ヶ月）、1歳児ちゅうりっぷ組（1歳～1歳11ヶ月）
2歳児たんぽぽ組（2歳～2歳11ヶ月）の子どもたちがいます。

今年の乳児保育は、様々な『ゆう』を大切にしながら保育を行っていきたいと思います。

～保育の原動力～

- 一、 悠 （ゆったりとした環境の中で）
- 一、 優 （優しさ温もりあふれるうなずきと声かけで安心できる心を育てる保育）
- 一、 遊 （広い園庭で 元気いっぱい身体を動かして遊ぼう）
- 一、 友 （お友達と一緒に過ごしながらいきいきの心をはぐくむ）
- 一、 結 （保護者の方と心をつなぎ 子どもの成長を喜び合っていきたい）

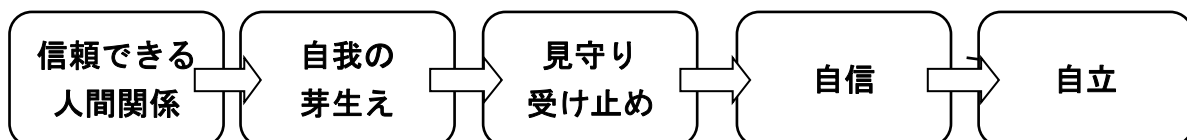
一人ひとりの思いや気持ちに共感し寄り添った保育を行っていきます！！

この時期の子どもたちは『毎日が成長！！』一人ひとりの成長ぶりには感動の毎日です。

子どもたちの生活リズムには個人差があるので、一人ひとりに合わせた食事の援助、睡眠リズムを大切にしたい保育を心掛けています。生活リズムが安定することで、十分に体を動かしたり、好きな遊びを見つけたりしながら楽しく過ごすことができます。

一人ひとりの欲求を十分に満たしながら、生命の保持及び情緒の安定を図り、発達を援助しています。

この関わりが、人間の根っこ、基盤をつくるもととなり、



へとつながっていきます。

大人との安定した関わりの中で
居心地の良い安心できる環境の中で

《日々の生活》

- ・ クラスの友達やお兄さんお姉さん、小さいお友達や大人と広がる人間関係
- ・ 自分でやってみようとする意欲
- ・ 自我の芽生え、自己主張を受け止めてもらいながら色々な約束事があることを知っていく



《幼児期になる頃には》

- ・ 友達と遊びたくなり、喧嘩もするけど一緒に楽しい
- ・ 食事、排泄、着脱など身の回りのことが自分でできるようになる
- ・ 自分の気持ちを十分に表現することができる
- ・ 基礎的な運動機能が発達しバランスをとりながら動きのある運動遊びが楽しめる



豊かな心と身体が育ちます



幼児保育のポイント

みんなで色々な挑戦を楽しむ中で、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら自信や思いやりの心を育ていけるよう、丁寧に援助していきます。

心身ともに健康でのびのび行動できる子ども



① 毎日楽しく過ごす・・・今日も楽しかった！と思える遊びの充実を図ります。

クラスでの日々の遊び、異年齢での交流、季節ごとの行事などを通して、やり遂げた達成感やよろこび、遊び込んだ満足感を十分に味わいます。

② 優しくたくましい心を育てる・・・友だちとの関わりやいろいろな経験を通して、相手の思いに

気づき、認め合い、思いやりの心を育てます。その中で、周りの人のことも大切に思う気持ちや、信頼関係を築いていきます。

③ 地域との交流・・・・・・・・・・地域の子やお年寄りの方との交流を図っていきます。

アルナ園との交流、クリーン活動、行事への招待など、地域の方々と触れ合い、親しんでいきます。また、園庭開放などで地域の方々と関わっていきます。（感染症拡大予防の観点から実施を見送る場合もあります）

④ 丈夫な身体と意欲を育てる・・・身の回りのことを自分で意欲的に出来るようにしていきます。

自分のことを自分でやる喜びを感じながら、毎日心身ともに気持ちよく、意欲的に過ごしていけることが望ましいです。

⑤ 自然に親しみ、生命の尊さを知る・・・身近な植物や生き物に触れ、さまざまな発見を楽しみ、大切に

する中で命の尊さを知っていきます。花の水やりや野菜の栽培、お米作りなどを行い、世話をすることの大切さや収穫のよろこびを経験します。また、食べた時の美味しさや、喜びを味わい食物への感謝の気持ちも育みます。

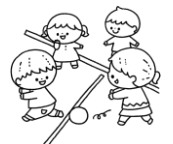


異年齢児交流

※年齢のちがう子ども同士で遊ぶ機会が少ない今、貴重な「異年齢」体験の場になります。（感染症拡大予防の観点から実施を見送る場合もあります）

○なかよしの日・・・・・・・・・・3，4，5歳児で遊びを楽しむ機会をつくれます。

戸外遊びやゲーム遊び、お店屋さんごっこなど一緒に楽しめます。



○たてわりグループ活動・・・4，5歳児クラスを4グループに分け、様々な活動を行います。

クリーン活動、いきものがかり、アルナ園交流、芋掘りなどを一緒に楽しみます。

年下の子は年上の子に優しく接してもらうことで心地よさを知ります。そしてその経験から、自分たちが年上になった時に年下の子へどう関われば良いかということも自然と分かるようになり、思いやりの気持ちがさらに育まれていきます。年上の子も、年下の子から慕われることによって自信が培われていく姿も見られるようになり、子ども達が互いに刺激しあい、遊びや生活に自信を持つようになります。



【年間保健目標】 ◎心身ともに健やかな身体をつくる。



	1期（4・5・6月）	2期（7・8月）	3期（9・10・11・12月）	4期（1・2・3月）
目標	- 新しい環境に慣れる - 衛生習慣を身につける - 事故防止について考える - 正しい歯の磨き方を知る	- 暑さに負けず元気に過ごす - 安全な環境の中で水遊びを楽しむ - 活動と休息のバランス - 夏に流行する感染症の早期発見	- からだの仕組みを知り、健康に関心を持つ - 風邪を引かない丈夫なからだを作る - 薄着の習慣を身につけよう	- 生活リズムを整える - 寒さに負けず元気に遊ぶ - 成長の喜びを知る - 進級・卒園に向けて
保健行事	- 入園説明会 - 保育説明会、懇談会 - 身体測定、園医健診 - 歯科健診、歯の染め出し - 予防接種の推奨 - 既往歴、予防接種調査（新入園児） 	- 身体測定、園医健診 - シャワー浴、水遊び健康チェック表の記入 - プール遊びの衛生管理 - 皮膚トラブルの予防 - 害虫対策 	- 身体測定、園医健診 - インフルエンザ予防接種状況把握 - インフルエンザ予防接種の推奨 - 目の健康について - 嘔吐、下痢時対応の準備 	- 身体測定、園医健診 - 新入園児健診、面談 - 成長記録の整理 - 寒さや乾燥による肌荒れへの対応 - 嘔吐・下痢の感染拡大防止 - 心身ともに成長したことを確認する 
集会	事故防止	熱中症予防 	生活リズム 	風邪予防
配慮及び留意事項	- 子ども一人ひとりの健康状態の把握（体質、既往歴、発達状況など職員間での周知、理解） - 環境の変化によるケガの発生に気を付ける - 年齢に見合った活動しやすい衣服や靴サイズの確認、働きかけ - 歯科健診の結果について家庭連絡 - 遊具の正しい使い方を知らせる - 爪の点検、事故防止への配慮	- シャワー浴、プールの温度・衛生管理及び事故防止 - 汗をかいた後の着替え - とびひ について - 虫刺され時の対策、虫よけスプレーの使用 - 熱中症予防、水分補給、冷房の使い方 - 家庭での食品の衛生管理 - 光化学スモッグ情報を受け、遊びや生活などに最善の方法で対応する。	- 命の大切さ（自分も友だちも） - 早寝・早起き・朝ご飯の大切さを知り、幼児は自分で意識を持てるように働きかける - 寒くなっても急に厚着にならないように - 気候や運動に見合った衣服を着る - 自分の体の体調を伝えられるようにする - 戸外遊びを充実させ体力の向上を図る - 感染性胃腸炎、インフルエンザの流行拡大を防ぐ	- 寒さに負けず外気に触れて遊ぶ - やけどに注意 - 室温・外気温に合った衣服で過ごす。 - 感染性胃腸炎、インフルエンザの流行拡大を防ぐ（手洗い・うがいの励行、室内環境の調整） - 就学、進級に向けて成長したことを喜び合う。 髪、顔、手足、爪、肌着などの清潔に心がけるよう指導する。

日々の保健業務

- 嘱託医からの指導、助言を受ける - サーベイランスシステムへの入力 - 救急法、衛生講習会への参加 - 病欠児の状況把握 「けんこうてちょう」への記入 - 保健だよりなどでの情報発信 - 成長発達状態の継続観察（身体測定） - 熱性けいれん歴や肘内障歴の把握と対応 	- 予防接種状況の把握と推奨 - 感染症罹患歴の把握 - 園舎内共有部分、玩具の消毒 - 保育中のケガによる受診と経過観察 - 保育中の体調不良時の対応 - 新入園児健診、看護師面接 - 職員の細菌検査に関すること（検便） - 電解水による感染予防	- 除去食の誤食防止 - 定期的な害虫対策 - 冷房機器の清掃、メンテナンス - 登園受け入れ時、日中の健康観察 - SIDS 防止について確認、睡眠時チェックの徹底 - 子どもの疾病、傷害についての正しい理解と基本的対応の周知 - 乳児健診：2か月に1回 幼児健診：4か月に1回 - 身体測定：毎月10日健康の日（4.9月は頭囲・胸囲も測定） 
--	---	--

保護者のみなさまへ

- 衛生面を考慮して視診室への幼児の入室はできません。 - こまめに爪のチェックをお願いします。 - 感染の予防（嘔吐物、便の処理について） - 健康チェック表の記入（毎日の検温）	- 登園許可証明書を忘れずに - 血液のついた衣服の扱いについて - 身体のバランス感覚の育ち（怪我予防） - 解熱後 24 時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは自宅療養していただく。	- 病児保育所のご案内 - 肌着について（保湿・保温） - PCR 検査、抗原検査を受ける場合の連絡について	- 緊急時の連絡 - 集団生活への理解
---	--	--	--

*新型コロナウイルス感染症流行等によっては、日程が変更されることがありますのでご了承ください。

令和4年度 食育年間計画

目標		食と健康:空腹を感じるリズムある生活をおくる。 食と文化:年齢に応じた食事のマナーを身につける。 いのちの育ちと食:自然の恵みと働くことの大切さを知り、感謝の気持ちをもって食事を味わう。				食と人間関係:身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう。 食と料理:身近な食材を使って調理を楽しむ。					
0歳児	ねらい 内容	3か月～概ね8か月		概ね9か月～概ね10か月(モグモグ期)		概ね11か月～概ね12か月(カミカミ期)		概ね12か月～概ね24か月(パクパク期)			
	配慮	・空腹感を受け止め、ゆったりとした環境で授乳を行う。 ・ミルクの量や授乳時間など、保護者と連携を取り合うようにする。		・安定した人間環境の中で、ミルクを飲み、心地よい生活を送る。 ・保育園の食事に期待して、意欲的に食べようとする。		・歯ごたえのある食材に慣れ、噛むことを身につけていく ・意図的に食事に関わろうとする。 ・空腹を感じるリズムを整える。		・発達に応じて幼児食に移行し、楽しい雰囲気の中で、会話を楽しみながら食事をする。 ・保育者を真似て、食事の挨拶をしようとする。			
1歳児	ねらい 内容	・いろいろな味や食感を知り、保育園の食事に慣れる。 ・保育者や友達と楽しい雰囲気の中で、自分で食べようとする意欲を高める。		・安定した生活リズムで、体を十分に動かして、空腹感を感じる。 ・スプーンやフォークを使い、こぼしながらも一人で食べようとする。		・苦手なものを少量ずつでも食べようとする。 ・様々な食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して進んで食べようとする。		・食事に関わる語彙が増える。 ・器に手を添えて食べるようになる。			
	配慮	・「おいしいね」「カミカミ」等と優しく声をかけながら、食事の楽しさやおいしさが感じられるようにする。		・一人一人の体調に合わせて食べる量を調整して、楽しく食べられるようにする。 ・自分でしようとする気持ちを大切にし、必要な時には援助することで満足感が得られるようにする。		・咀嚼が十分に身につくように援助して、自分で食べようとする意欲を育む。 ・味や食材の好みが出てくることを認めながら、様々な味に慣れるように無理なく個々に合わせて対応する。		・食べ物の色・匂い・味の言語表現を伝えながら、食への感性を育てていく。 ・声かけだけでなく、子どもの器を持つ手を支えて、食べやすいように援助する。			
2歳児	ねらい 内容	・楽しい雰囲気の中で、友達や保育者と一緒に食事をすることを楽しむ。 ・スプーンやフォークを正しく持ち、器を持ち上げて食べる。		・様々な食材に興味を持って楽しんで食べる。		・箸に興味を持ち、意欲的に食べる。 ・友だちと一緒に食事をし、一緒に食べる楽しさを知る。		・食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。			
	配慮	・個々に合わせた食事の量で、完食の満足感を味わえるようにする。 ・食器の正しい持ち方を、個々に丁寧に教える。		・適度な運動を促すことで、一定量を完食する満足感を味わえるようにする。 ・野菜の観察や栽培を通して食材への興味を育てていく。		・箸を使った遊びを取り入れながら、少しずつ箸の持ち方を伝えて、個々に発達に合わせて箸に移行していく。		・個々に丁寧にに関わり、自らしてみようと思う気持ちを育む。			
3歳児	ねらい 内容	・身近な人と会話を楽しみながら食事をする。 ・食事の準備から片づけまでの流れを知る。 ・野菜を育てながら、食材への興味を育む。		・食生活に必要な活動を行えるようになる。 ・収穫や野菜に触れることを楽しむ。 ・様々な食材があることを知り、自分が食べているものに関心を持つ。		・苦手なものも少量だけでも味わって、様々な食材に触れようとする。また、好き嫌いが分かり、加減を保育者に伝えようとする。		・基本的食習慣が整うように意欲的に取り組む。 ・お箸で食べようとする意欲を育てる。			
	配慮	・一人一人が食べ物に興味を持ち、意欲的に食べようとする姿を受け止めて、自立心の芽生えを尊重する。 ・野菜の成長を適宜に捉えて、好奇心や思考力を育む。		・配膳や下膳が容易にできるように配置を整える。 ・育てた野菜を通して、食への興味や苦手な食材への意欲を育てていく。		・誘いかけをしながらも、無理強いすることなく子どもの意思を尊重するように心掛ける。 ・食べる速さに差がある場合は、落ち着く空間を確保する		・個々に確認しながら、援助の必要なところを丁寧に関わっていく。			
4歳児	ねらい 内容	・身近な人と会話を楽しみながら食事をする。 ・食事の準備から片づけまでの流れを確認し、自分で行えるようになる。 ・野菜を育てながら食材に興味を持つ。		・自分の食べられる量を知り加減を保育者に伝えられる。 ・育てた野菜を収穫し、給食で食べる事により苦手意識をなくす。 ・「旬」という言葉の意味を知る。		・食べ物と体の関係に興味を持つ。 ・活動が活発になり、食べられる量が増える。		・気持ちよく食べるためのマナーを身につける。 ・正しい箸の持ち方を意識するようになる。			
	配慮	・栽培について、子どもが日常的に生活の一部として捉えられるように継続して関わっていく。		・よく噛むことを伝えて、咀嚼力を育み満腹中枢の働きを促す。 ・こぼさない残さない意識を育てる。		・体の仕組みや歯の仕組みを絵本や図表を用いて伝え、興味を引き出し、意欲的に活動や食事する心を育てていく。		・食事中、正しい姿勢を保持できるように声掛けの工夫をする。			
5歳児	ねらい 内容	・身近な人と楽しみながら、食事のマナーや正しい箸の持ち方で食べる。 ・野菜の栽培を通して、食材に命を頂くことを感じる。 ・時間に見通しをもって食べる。		・野菜の栽培や収穫を通して食のサイクルに興味を持つ。 ・自分の身体に必要な食品の種類や動きを知る。		・食べたものの栄養価を知り、食べ物と体の関係に興味を持つ。 ・旬の食材から季節感を味わうことを楽しむ。		・就学に向けて、食事マナーを再確認し、自信を持つ。 ・一定の時間内に食べ終わられるようになる。 ・正しい箸の持ち方やマナーで食事をする。 ・体の中で食べものがどのような働きをしているかを知			
	配慮	・箸の持ち方、食器の配置や持ち方、三角食べ等について確認や個々に丁寧に教えていく。 ・栽培を通して、命を頂くことや生産者の存在に気づき、感謝の心を育む。		・絵本や実体験を通して、食材が食卓にあがるまでの過程に関心を持てるようにする。 ・収穫後の土等の手入れも体験することで、サイクルを知るとともに環境について考える機会を持つ。		・さまざまな料理を通して、素材に目を向けて、関心や知識が高まるようにする。 ・個々に箸の持ち方を確認して、援助の必要な子には教えていく。		・就学に向けての意識をしつつ、楽しく食事をすすめられる雰囲気づくりをする。			
旬の食材	ねらい 食材	季節の食材を取り入れ、旬のおいしさを味わう。									
行事食	ねらい 行事	各種行事の由来・意義等を伝え、食事に変化と楽しみや期待感を持つ。									
郷土食	ねらい 献立	地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ。									
職員の連携	ねらい 職員の連携	アレルギー対応のような異なった献立を摂っている子どもについて共通認識を持つ。				家庭との連携		五平餅 ・献立表配布・給食だより配布・食事調査(離乳食開始前・入園時) ・アレルギー調査・給食試食(保育参加日週間)			
地域との連携	ねらい 地域との連携	行事への参加・園だより・ポスター掲示など									
食育集会	ねらい 食育集会	食材について				夏野菜に触れる		箸について		3色食品群	

子どもたちの安全を守る取り組み

保育園生活の中で安全に対する意識を身につけ、子どもたちが安全に過ごせるように職員で研修・検討を積み重ね、年間を通して様々な取り組みを行っています。

(1) 避難訓練・・・年間で計画をたて、毎月15日前後に訓練をおこないます。

最初は『放送を聞いて保育者のところに集まる』という練習から始めます。毎月の訓練を重ねながら『防災頭巾をかぶる』『非常滑り台を使って避難する』と項目を増やし、子どもたちに不安を与えないように訓練を進めていきます。職員は水消火器を使用した消火訓練や消防署への通報訓練、安全な避難経路の確認をおこないます。避難の際は、保育者だけではなく、園内全ての職員が関わり乳幼児の避難の援助をします。

また、各クラスには非常時持出しリュックを配備、園内には非常用の備蓄食料を保管して災害時に備えています。

子どもたちがいかにして緊急時に混乱せずに指示を受け入れてくれるか・・・が安全な避難のポイントになります。

(例) 子ども達に避難の方法を教える時は・・・。

◇頭部を守る⇒『だんご虫のポーズだよ』

◇煙の下方を移動する⇒『あひるさん歩きしてね』

◇災害時避難場所へ避難車や徒歩で行ってみる など



(2) 不審者対応訓練・・・年間で3回計画をしています。

①保育中に不審者が侵入したことを想定して、放送により保育者の周りに集まり避難をします。不審者侵入時の職員の伝達経路や園児の安全を確保します。

②幼児を対象に「誘拐防止教室」の集会をおこないます。

『いかのおすし』を合言葉に知らない人に声を掛けられたらどうするのかなど職員による寸劇を交えて対応の仕方などを伝えます。その後、園庭に出て不審者のパネルを使用しながら実際に避難の訓練をします。

訓練の内容に段階をつけることによって子どもたちに無理なく危険に対する意識が身につくようにしています。

※職員園内研修などで外部講師から防犯に関する内容を学びます。



(3) その他

- ・『交通安全教室』・・・県警より指導員がきます。(幼児クラス対象に実施)
- ・『安全管理チェック』(遊具や園内外環境のチェック) 5. 7. 10. 12. 2月(各年齢ごと)
- ・『事故防止チェック』(子どもたちへの保育内容) 4. 7. 10. 1月(各年齢ごと)
- ・保育中のケガや事故の報告書を見直し、傾向と対策を話し合います。
- ・園外保育の注意点や現地遊具の情報、危険箇所のチェックをし職員に周知。
- ・救命救急研修に参加し、実践的な訓練をします。
- ・玄関にAEDを設置。職員を対象に心肺蘇生訓練の実施
- ・保護者の方への緊急時連絡メールシステムの導入
- ・非常時、警察への直通通報装置と防犯カメラの設置
- ・新園開園に伴う各種防犯強化
- ・一時保育室防犯強化



《令和4年度 栢生保育園 年間行事予定》

日時	行事予定	備考
4月		
1日(金)	進級式 入園説明会	在園児 新入園児
4日(月)	顔合わせ集会	3.4.5 歳児 保護者
	0歳児懇談会(13:15～)	
	1歳児懇談会(18:15～)	
5日(火)	2歳児懇談会(18:15～)	
6日(水)	3歳児懇談会(18:15～)	
7日(木)	4歳児懇談会(18:15～)	
8日(金)	5歳児懇談会(18:15～)	
14日(木)	誕生会	園児
23日(土)	父母会総会・保育説明会 (中止となります)	保護者
5月		
7日(土)	親子遠足	5歳児親子
12日(木)	誕生会	園児
16日(月)～ 20日(金)	0歳児保育参観日※ 5歳児保育参観日及び個人面談※	保護者
23日(月)～ 27日(金)	3歳児保育参観日※	
30日(月)～ 6月3日(金)	2歳児保育参観日※	
6月		
2日(木)	歯科検診(10:00～)	園児
4日(土)	父母会役員会	父母会役員
6日(月)～ 10日(金)	1歳児保育参観日※	保護者
13日(月)～ 17日(金)	4歳児保育参観日※	
16日(木)	誕生会	園児
29日(水)	プール開き	園児
*沐浴・水遊び健康チェック記入開始 *シャワー開始		
7月		
7日(木)	七夕集会	園児
8日(金)	笹燃やし	園児
9日(土)	夕涼み会	親子
14日(木)	誕生会	園児
30日(土)	おたのしみ保育※	5歳児
*アルナ園交流		
8月		
18日(木)	誕生会	園児
9月		
3日(土)	父母会役員会	父母会役員
15日(木)	誕生会	園児
29日(木)	0歳児運動遊び Day※	0歳児
30日(金)	1歳児運動遊び Day※	1歳児
*アルナ園交流 *ふれあいコンサート		

◎※印の行事については別紙(補足説明)をご確認ください。
◎*印は、日程が決まり次第お知らせいたします。
◎毎月、身体測定と避難訓練を実施します。

日時	行事予定	備考
10月		
4日(火)	運動会通し練習	3.4.5 歳児
8日(土)	運動会(雨天時9日) (9日雨天時→12日)	3.4.5 歳児 親子※
13日(木)	誕生会	園児
14日(金)	2歳児運動遊び Day※	2歳児
17日(月)～ 25日(火)	3歳児保育参観日及び個人面談※ 5歳児保育参観日※	保護者
18日(火)	移動動物園(雨天時未定)	園児
20日(木)	芋ほり遠足※	4.5歳児
26日(水)～ 11月4日(金)	4歳児保育参観日及び個人面談※	保護者
28日(金)	5歳児懇談会(18:00～)	保護者
11月		
6日(日)	かっさーまつり	親子
7日(月)～ 14日(月)	0歳児保育参観日及び個人面談※	保護者
15日(火)～ 22日(火)	1歳児保育参観日及び個人面談※	
17日(木)	誕生会	園児
24日(木)～ 12月1日(木)	2歳児保育参観日及び個人面談※	保護者
*芋煮会 *焼き芋会(4.5歳児)		
12月		
6日(火)	保育発表会通し練習	園児
10日(土)	保育発表会※	3.4.5 歳児 保護者※
15日(木)	誕生会	園児
20日(火)	クリスマス会	園児
28日(水)	年内保育最終日	
1月		
4日(水)	保育開始	
5日(木)	新年顔合わせ集会	園児
12日(木)	誕生会	園児
13日(金)	どんど焼き	園児
19日(木)	0歳児懇談会(18:00～)※	保護者
20日(金)	5歳児懇談会(18:00～)※	保護者
26日(木)	3歳児懇談会(18:00～)※	保護者
27日(金)	4歳児懇談会(18:00～)※	保護者
2月		
2日(木)	豆まき集会	園児
	1歳児懇談会(18:00～)※	保護者
2日(木)～ 8日(水)	作品展	園児
3日(金)	2歳児懇談会(18:00～)※	保護者
17日(金)	誕生会	園児
24日(金)	年長児お別れ遠足 (バス・弁当持参)	5歳児
*新入園児 *進級写真撮影		
3月		
2日(木)	誕生会	園児
3日(金)	ひなまつり集会	園児
4日(土)	父母会承認総会	保護者
11日(土)	卒園式(3歳児以下休園となります)	5歳児親子
14日(火)	お別れ遠足(弁当持参)※	園児
23日(木)	移行期間開始	

※新型コロナウイルス感染拡大防止施策などにより、行事内容が変更する場合がありますので、何卒ご了承ください。
※毎月の園だよりや掲示をご確認ください。



令和4年度 柿生保育園 年間行事予定について（補足説明）

※感染症拡大防止対策などにより行事が変更する場合がありますので、何卒ご了承ください。

※保育参観について

・春は、5月～6月 秋は、10月～12月に保育参観を行います。日頃のお子さんの様子をご覧ください予定です。
参観方法につきましては、決まり次第、皆様にお知らせします。

※5 歳児お楽しみ保育について

・園生活最後の年を迎える年長児の思い出作りとして、7/30(土)に園舎内で「お楽しみ保育」を行います。土曜日の通常保育のお子様は、乳児室と2歳児保育室にて過ごしますので、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

※乳児(0, 1, 2 歳児)運動遊び Day について 《0 歳:9/29(木)、1 歳:9/30(金)、2 歳:10/14(金)》

・令和3年度同様、乳児クラスは平日の保育の中で「運動遊び Day」を行います。当日は保育者と一緒に、子ども達が様々な運動遊びを楽しみます。その様子を保護者にご覧いただく内容を検討しております。決まり次第皆様にお知らせいたします。

※幼児(3, 4, 5 歳児)運動会について

・10/8(土)の運動会は幼児クラス(3, 4, 5 歳児)で行う予定です。詳細内容や時間帯については感染症の状況を踏まえ検討しております。決まり次第、皆様にお知らせいたします。

※10 月～12 月保育参観および個人面談について

・各年齢の期間内で保育参観と個人面談を行います。なお、5 歳児はこの期間は保育参観のみとなります。

※芋ほり遠足について(4, 5 歳児)

・貸し切りバスに乗り「黒川東営農団地」にて 4, 5 歳児の芋ほり活動を予定しております。バス代は実費徴集させていただきますので、何卒宜しくお願いいたします。また、帰園後給食を食べますので、お弁当はいりません。詳しい内容は期日が近づきましたら改めてお知らせいたします。

※保育発表会について

・12/10(土)の保育発表会は幼児クラス(3, 4, 5 歳児)の参加で表現遊びや劇遊び等を行う予定です。詳細内容や時間帯などについては感染症の状況を踏まえ検討しております。決まり次第、皆様にお知らせいたします。

※お別れ遠足(全園児)について

・3/14(火)は園内で遠足の雰囲気味わう活動や遊びを行い、園庭または保育室でお弁当を食べます。全園児がお弁当持参となり、雨天の場合も給食がありませんので、この日はお弁当を忘れずにお持ちください。当日の活動内容や持ち物などの詳細につきましては、期日が近づきましたら改めてお知らせいたします。

※年度末懇談会について

・1月、2月に予定しておりますが、感染症の状況により日程が変更する場合がありますのでご了承ください。

◎各種集会について

(誕生会、衛生集会・七夕集会・クリスマス会・新年顔合わせ集会・どんど焼き・豆まき集会・ひなまつり集会など)
・感染拡大防止の為、当分の間、ホールでの集会は控え、各保育室、または園庭にて行う予定です。